

科目名称：	コンピュータ表現演習Ⅱ	
担当者名：	大谷 友理	
区分	授業形態	単位数
専門教育科目	演習	1
授業の目的・テーマ		
制作系業界を目指す学生のためのIllustrator・Photoshopの中級演習。 レイアウトの基礎から応用を中心にひとつでも多くレイアウトの引き出しを増やし、現場で必要とされる技術とセンスを磨く。 [受講条件] 上記ソフトウェアの基礎的な操作が可能なおこと。デザイン・ビジネスコース、ゲーム・映像コースの学生は受講が望ましい。		
授業の達成目標・到達目標		
制作の現場で必要とされる「文字組のレイアウトを美しく組む」「情報を分かりやすく視覚表現する」「スピーディに仕上げる」ことを重視し、DTP (Desktop publishing) ソフトをひとつの「道具」として捉え、デジタル・アナログ問わず様々な手法を用い「伝えたい人の視覚と心に届くデザイン」の制作を目指す。また印刷やWEB等、媒体に合わせたデータ作成における留意点への理解も深める。		

美術学科	ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP(1)	建学の精神と設立の理念を基に、主に基礎教育科目により、基礎知識を修め幅広い教養を身につけ、多様な文化や考えに対応できる。	
DP(2)	主に専門科目により、美術に関する理解を深め豊かな表現力を身につけ、社会の一員として貢献できる実践力を身につけている。	○
DP(3)	多様な社会に対応できるように、自己表現を深化させながらも他者の意見を尊重し、様々な表現を受け入れる豊かな人間性をもっている。	
DP(4)	様々な課題に取り組み、応用力と創造力を身につけて、その中から自己の個性を磨き表現できる。	

評価方法/ディプロマポリシー	整列	余白	メリハリ	文字組	合計
美術DP(1)					0
美術DP(2)	25	25	25	25	100
美術DP(3)					0
美術DP(4)					0
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の実務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
あり	《内容1》大谷 友理：デザイナー、アートディレクター、イラストレーター、Webデザイナー	《経験年数1》17年
	《内容2》	《経験年数2》
	《内容3》	《経験年数3》
	《内容4》	《経験年数4》

評価ルーブリック	すばらしい(S・4)	とてもよい(A・3)	よい(B・2)	要努力(C・1)
整列	タイトル、コピー、見出し、本文、各情報が美しく整列し、アクセントで外すなど、紙面をコントロールしている。	タイトル、コピー、見出し、本文、各情報が美しく整列している。	タイトル、コピー、見出し、本文、各情報がある程度整列している。	タイトル、コピー、見出し、本文、各情報が整列していない。
余白	テキスト情報や画像の余白が適切に設けられており、目線の誘導を意識した余白を取るなど、紙面をコントロールしている。	テキスト情報や画像の余白が適切に設けられている。	テキスト情報や画像の余白がある程度適切に設けられている。	テキスト情報や画像の余白が適切に設けられていない。
メリハリ	メインとなる部分と本文に明確な差がありながらも、適切な文字サイズを保っており、美しいデザインに仕上がっている。	メインとなる部分と本文に明確な差がありながらも、適切な文字サイズを保っている。	メインとなる部分と本文に明確な差がないものの、適切な文字サイズを保っている。	メインとなる部分と本文に明確な差がなく、適切な文字サイズも保っていない。
文字組	フォントの選出、文字のサイズや比率、禁則処理などが適切で、美しく違和感のない可読性がある。	フォントの選出、文字のサイズや比率、禁則処理などが適切である。	フォントの選出、文字のサイズや比率、禁則処理などがある程度適切である。	フォントの選出、文字のサイズや比率、禁則処理などが適切でない。

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間(分)
第1回 レイアウトを「見」る力を養うため、授業内でディスカッションを行う。電子黒板使用。	参考書に目を通しておく(毎回参考書を持参する)	30分
第2回 DTPレイアウト基礎、Illustratorを使い基礎的な演習を行う。	参考書・プリントに目を通し、分かりやすいレイアウトについて意識して見ておく。	20分
第3回 模写①1(横組) Illustratorを使い課題のレイアウトを再現する。	参考書・プリントに目を通し、分かりやすいレイアウトについて意識して見ておく。	20分
第4回 模写①2(横組) Illustratorを使い課題のレイアウトを再現する。	担当教員や他者の意見を取り入れながら、各自レイアウトの課題を進めておく。	120分
第5回 模写①3(横組) 講評。授業内でディスカッションしながら添削・修正を行う。	担当教員や他者の意見を取り入れながら、各自レイアウトの課題を進めておく。	120分
第6回 模写②1(縦組) Illustratorを使い課題のレイアウトを再現する。	参考書・プリントに目を通し、分かりやすいレイアウトについて意識して見ておく。	20分
第7回 模写②2(縦組) Illustratorを使い課題のレイアウトを再現する。	担当教員や他者の意見を取り入れながら、各自レイアウトの課題を進めておく。	120分
第8回 模写②3(縦組) 講評。授業内でディスカッションしながら添削・修正を行う。	担当教員や他者の意見を取り入れながら、各自レイアウトの課題を進めておく。	120分
第9回 応用①1(横・縦混合組オリジナル) Illustratorを使いオリジナルレイアウトで組み直す。	参考書・プリントに目を通し、分かりやすいレイアウトについて意識して見ておく。	20分
第10回 応用①2(横・縦混合組オリジナル) Illustratorを使いオリジナルレイアウトで組み直す。	担当教員や他者の意見を取り入れながら、各自レイアウトの課題を進めておく。	120分
第11回 応用①3 講評。授業内でディスカッションしながら添削・修正を行う。	担当教員や他者の意見を取り入れながら、各自レイアウトの課題を進めておく。	120分
第12回 Illustratorを使った地図の作り方などの中級演習を行う。	参考書・プリントに目を通し、分かりやすいレイアウトについて意識して見ておく。	20分
第13回 応用②1(画像を用いたレイアウト) Illustratorを使い課題チラシをオリジナルで制作する。	参考書・プリントに目を通し、分かりやすいレイアウトについて意識して見ておく。	20分
第14回 応用②2(画像を用いたレイアウト) Illustratorを使い課題チラシをオリジナルで制作する。	担当教員や他者の意見を取り入れながら、各自レイアウトの課題を進めておく。	120分
第15回 応用②3 講評。授業内でディスカッションしながら添削・修正を行う。	担当教員や他者の意見を取り入れながら、各自レイアウトの課題を進めておく。	120分

事前事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め短期大学設置基準で規定された学修時間が必要である。
また、事前事後学修としては、授業で補えない作業を進めておくこととする。

成績評価の方法・基準

定期試験は、実施しない。 その他の評価配分は、以下のとおりである。
絶対条件：成果物5点(模写①②応用①②③)の提出
評価配分：成果物5点の採点の平均 100%

課題に対してのフィードバック

ルーブリックに応じ課題の提出毎に採点しアドバイスを面談によりフィードバック。より高い評価を目指し1~2回まで課題の修正・提出可(チャレンジシステム)

教科書・参考書

「レイアウト、基本の「き」」佐藤直樹+ASYL 著/グラフィック社